

## 第6回(公社)日本食品衛生学会近畿ブロック勉強会開催及び参加者の募集について

日本食品衛生学会近畿ブロックでは、食品衛生の向上と学会の活性化、情報共有を目的として勉強会を開催しております。この度、食品の試験・検査現場の担当者間における情報共有ワークショップを企画するとともに、発表会・講演会の開催も予定しております。多数、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

日時 令和6年3月1日(金) 午前の部 9時30分～、午後の部 13時～

場所 大阪公立大学 I-site なんば (2F カンファレンスルーム)大阪市浪速区敷津東 2-1-41

### プログラム

#### 午前の部 (9:30～)

##### ○食品の試験・検査現場の担当者間における情報共有ワークショップ

日常の食品の試験・検査現場における技術的な悩み、ラボの運用、職員マネージメントなど分析者共通の課題について、現場担当者が集い、グループ討議を通して情報共有し、解決策を模索します。  
(課題例:分析手順書の行間の技術の共有・継承法、ちょっと聞きたい分析ノウハウの共有ネットワークづくり、分析機器のブラックボックス化による操作法・メンテナンスの課題、分析上の不安、若い分析者が知りたい分析技術、検査現場でのモチベーション維持のための取り組み、など)

#### 午後の部 (13:00～)

##### ○一般発表による研究紹介

- 1)乳児用調製粉乳中のクロロプロパノール類及び関連物質の高感度分析法の検証  
岩部 雄大 一般財団法人日本食品分析センター 彩都研究所
- 2)マイクロウェーブ分解-誘導結合プラズマ質量分析法による器具容器包装試験法の検討  
上田 隼史 姫路市環境衛生研究所
- 3)新規注入方式による LC/MS 食品分析ワークフローの効率化  
安田恭子 アジレントテクノロジー(株)
- 4)HPLC を用いたりんごジュース中オキシテトラサイクリンの試験法検討  
平田祥太郎 (地独)大阪健康安全基盤研究所
- 5)立命館大学毒きのこデータベースの進捗情報:LC-QTOF/MS データのスペクトル獲得と応用性  
山根 千里 立命館大学
- 6)微生物学的試験法における抗菌性陽性食肉試料の理化学分析  
上村聖子 (地独)大阪健康安全基盤研究所

##### ○専門の先生による話題提供

- 1) 検査機関の GLP 及び食品工場の HACCP の立入検査からみた食品衛生(仮題)  
甲南女子大学医療栄養学部准教授 井上智子先生
- 2) ウイルス性肝炎(A型、E型)～食品衛生の観点から～(仮題)  
堺市衛生研究所総括研究員 三好龍也先生

- 参加者 食品衛生関係者(近畿地区以外も可能)  
(公務員、民間、学生を問わない。食品衛生学会会員・非会員を問わない)
- 申し込み方法:「別紙 参加申込書」を下記アドレスにメールで送付願います。  
申し込み締め切り:2月4日(日) yoshichika.hirahara@setsunan.ac.jp
- 参加費 無
- 懇親会(南海難波駅周辺で17:30開始予定、会費5,000円前後)

(別紙 参加申込書に午前、午後、懇親会の出欠をご記入願います)



大阪メトロ御堂筋線・四つ橋線・堺筋線・南海電車  
 なんば駅 徒歩約10分

主催 日本食品衛生学会近畿ブロック活性化委員会  
 理事 堺市衛生研究所 神藤正則

連絡先

近畿ブロック学会活性化委員 ブロック長  
 平原嘉親 (摂南大学農学部)

TEL: 072-896-2328

E-mail: yoshichika.hirahara@setsunan.ac.jp